

役員立候補者等 公示 5

立候補役員名	全道理事						
(ふりがな) 氏名	たかはし みちえ 高橋 通江	性別	男 (女)	生年月日	西暦 1974年 11月 22日	年齢	42歳
勤務先名	永山地域包括支援センター						
会員番号	22711	市町村	旭川市				
主な活動歴	平成20年度より北海道社会福祉士会道央地区支部の地域包括支援委員や道地域包括支援センター支援委員、平成23年度からは地域包括支援センター支援担当の理事、北海道高齢者虐待防止推進委員として、道全域の高齢者虐待防止に努めています。平成26年度より、道北地区支部で副支部長として、足元をみつめながら、北海道全域の虐待対応能力の向上と体制構築のため、弁護士会等他機関と連携し活動しております。						
立候補理由・ 抱負	平成19年3月より、地域包括支援センター(直営・委託)で勤務し、権利擁護業務の重要性や虐待対応の専門職としての価値、ソーシャルワークの魅力を強く感じました。また、東日本大震災での災害支援や虐待対応体制のための他団体と連携した活動を通じ、職能団体として活動する意義や社会資源等構築するソーシャルアクションの必要性和魅力を感じております。この魅力ある社会福祉士としての業務を、すべての社会福祉士と共有し、さらに理念と実践をつなげていきます。そして、先輩方の培ってくれた社会福祉士の業務がさまざまな機関で必要とされるよう、職域拡大にもつとめます。社会福祉士が活躍できる場をつくり、誰もが住みやすく誇れる北海道となれるよう より良い未来を創ることができるよう活動していきたいと、立候補いたします。						
推薦者-①	石崎 剛	会員番号	11904				
推薦理由	高橋通江候補は、地域包括支援センター支援委員会担当理事を3期務められ、これまで、北海道や各市町村との連携を通じ、地域包括ケアシステムの構築支援、高齢者虐待対応標準研修等を通じた専門性の支援、弁護士会と連携協働した虐待防止専門職チームの構築等に寄与されています。 また、地域包括支援センターに勤務され、利用者の個別支援と地域支援を一体的に実践し、多機関と信頼関係を築きながら、日々ソーシャルワークを実践されています。 高橋理事が担当している分野は、権利擁護を担う様々な専門職に対し、社会福祉士が持つ専門性やソーシャルワークの固有性について示し、その存在意義を認知するという重要な意義があると考えます。その専門性と実践力は北海道社会福祉士会のさらなる発展に寄与されると考え、理事へ推薦します。						
推薦者-②	今井 敦	会員番号	22951				
推薦理由	高橋氏は社会福祉士として日頃から自己研鑽を行い、熱意をもって活動しております。また、社会福祉に対する思い・考え方が素晴らしいだけでなく、人望も厚いため、非常に尊敬できる方です。現在、地域包括支援センター支援委員の活動の中で一緒にさせて頂いておりますが、委員からの信頼も大変厚いと感じております。活動の中でも、高齢者虐待の専門職チームの体制化、各種研修の準備・開催における実績はいうまでもなく、さらに今年度は「地域包括支援センターネットワーク研修」が北海道で初の認証登録となったことも高橋氏の力が大きいものと考えます。道北地区でも副支部長として、関係団体とのネットワーク構築や連携強化、社会福祉士のスキルアップのための支援など、様々なご活躍をされております。以上のことから、高橋氏が理事になることは社会福祉士会の継続的な発展にもつながると考えているため、推薦させていただきます。						
推薦者-③	飛世 さおり	会員番号	46887				
推薦理由	高橋氏とは、地域包括支援センターにて共に勤務をして5年目となります。職場での業務に於いては、認知症の方の支援を中心に、権利擁護に関する支援においても、的確な視点を持ち、実直かつ懸命な対応をされており、同じ社会福祉士として多くのことを学ばせていただいております。また、高齢者虐待においては、道社会福祉士会においても、専門チームでの活躍が周知のところではありますが、共に業務を行うなかでも、そのスキルを存分に生かし、関係機関との連携や対応方法など、惜しみなく発揮していただいております社会福祉士としての意識の高さは、同僚としても尊敬すべきところであり、今後も、長年培ってきたスキルを各方面において発揮していただき、活躍していただくことを期待しております。社会福祉士会の発展において必要不可欠な方であり、理事へ推薦させていただきます。						